

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム つつじの丘作成日: 平成 30 年 11 月 19 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	外部の参加者として、地域代表と行政職員が参加しているが、外部の参加者を増員し、ホームからの報告会に終わらず、地域の高齢者問題(老老介護や独居の高齢者の安否確認)等の解決に繋がる運営推進会議を目指していく。	参加委員として、地域で活動している有識者や知見者(薬剤師、市民センター館長、交番の警察官、他グループホーム管理者等)に声を掛け、様々な意見を集約し、ホームや地域の課題について話し合ったり、勉強会を実施する等、内容の充実に向けて取り組んでいく。	12ヶ月
2	1	理念の共有と実践	経験の長い職員が多いため、各自の理解に任せ、最近では理念の唱和等、理念を改めて振り返る機会を設けていない為、改めて、理念を共有する取り組みにより、職員の意識づけを図り、理念に基づいた介護サービスに取り組んでいく。	ホームの理念は、グループホームの基本方針であり、理念を定期的に唱和する事で、日常の介護サービスが、理念に基づいて実施出来ているかを確認し、その都度軌道修正しながら、理念を柱に質の向上に向けて取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。